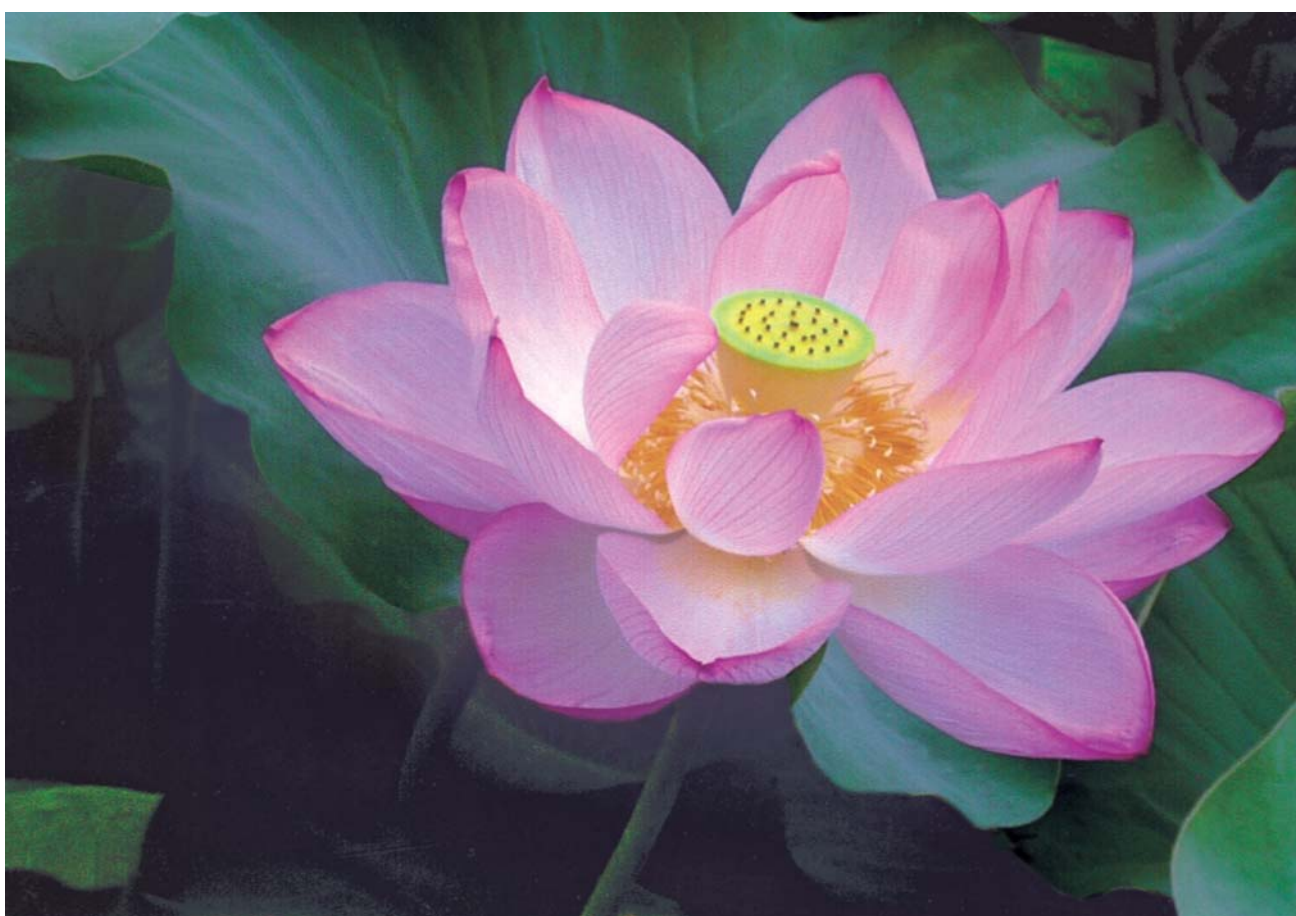


めでいかすとり

*Médicastre*



「大賀ハス」

## 鶴岡地区医療学術懇話会抄録

日 時：平成21年9月10日(木)  
場 所：東京第一ホテル鶴岡

## 『 IBSの診断と治療 一下痢型IBS治療の新たなる展開一 』

大泉胃腸科内科クリニック  
大 泉 晴 史 先生

ストレスによって身体諸臓器は様々な影響を受けるが、消化器はその代表的な臓器である。このストレスー脳ー消化管という軸 (brain-gut-axis) は脳腸相関 (brain-gut-interactions) と呼ばれ、現在この分野はNeurogastroenterologyとして研究が盛んである。臨床医学において脳腸相関が病態の中心をなす疾患群が機能的消化管障害 (functional gastrointestinal disorder; FGID) である。

FGIDとは明確な器質的変化によらない消化器症状が長期間持続もしくは再燃・寛解をくり返す症候群であり、その治療はまだ体系化されていない。

その診断基準が multinational working team の作成したROME I 基準であり、1992年に発表され世界で用いられたが、その後の研究成果に基づいて改定がなされ1999年にROME II、2006年にROME IIIが発表され現在広く普及している。

今回の演題の過敏性腸症候群 (IBS) は、QOLが障害されることで医療費に及ぼす影響が大きいだけでなく、その経済的損失も無視できない規模になってくると推測されている。

## 《IBSのROME III診断基準》

■腹痛あるいは腹部不快感が ■最近3ヶ月の中の1ヶ月につき少なくとも3日以上を占め  
■下記の2項目以上の特徴を示す

(1) 排便によって改善する (2) 排便頻度の変化で始まる (3) 便形状 (外観) の変化で始まる

\*少なくとも6ヶ月以上前に症状が出現し、最近3ヶ月間は基準を満たす必要がある。

\*\*腹部不快感とは、腹痛とはいえない不愉快な感覚をさす。病態生理研究や臨床研究では、腹痛あるいは腹部不快感が1週間につき少なくとも2日以上を占める者が対象として望ましい。

## 《IBSのROME III分類》

1. 便秘型 IBS (IBS-C)：硬便または兎糞状便が便形状の25%以上、かつ、軟便または水葉便が便形状の25%未満
2. 下痢型 IBS (IBS-D)：軟便または水葉便が便形状の25%以上、かつ、硬便または兎糞状便が便形状の25%未満
3. 混合型 IBS (IBS-M)：硬便または兎糞状便が便形状の25%以上、かつ、軟便または水葉便が便形状の25%以上
4. 分類不能型 IBS：便形状の異常が不十分であって、IBS-C、IBS-D、IBS-Mのいずれでもない

## 《IBSの治療》

2006年にROMA III診断基準が発表されたが、この時あらゆるIBS患者に対応して効果を挙げることができるように、プライマリーケア医、消化器専門医、心療内科医のすべてを網羅したIBS治療ガイドライン (第1段階～第3段階) も示された。

現在、科学的根拠に基づくIBSに対する治療薬としては抗コリン薬、消化器機能調節薬、高分子重合体、下痢、整腸薬、抗うつ薬、抗不安薬があげられる。日本で使用できる薬剤で最近のRCTとメタアナリシスで効果が証明されているのは、マレイン酸トリメブチン、ポリカルボフィルカルシューム、ロペラミド塩酸塩、乳酸菌製剤、パロキセチン塩酸塩水和物、ミアンセリン塩酸塩である。これに最近5-HT拮抗薬であるラモセトロン塩酸塩 (イリボー) が加わり、男性下痢型IBS患者に大きな福音をもたらした。

一方IBSではプラセボ効果も心理療法も脳科学で解明されてきており、決して非科学的な現象ではない。日常診療において、IBS患者に対しては薬物効果、プラセボ効果、心理的効果の緩和が治療効果であることを認識し、これを活かすことが肝要であろう。

日 時：平成21年 9月10日(木)  
場 所：小真木原体育館

## 准看護学院体育大会を終えて

実行委員長 2年 遠藤 智佳

私が実行委員長で本当に大丈夫なのかとても不安でしたが、とりあえず終ってゆっくりしました。副委員長と二人だけで進めた部分が多くあり、他の体育委員ともっとコミュニケーションを取ることが出来たら良かったです。競技の開始も遅れ、連絡もうまく伝えられず本当に申し訳ないことをしてしまったと思いますが、皆が協力してくれたのでここまでやる事ができ感謝しています。

1年生には何も分からないのに分かり易く伝えることが出来ず申し訳ないことをしました。しかし、皆に迷惑はかけましたが、このような体験は二度とできないと思うし、自分が少し成長できたと思います。この反省を活かし、これから生活していきます。最後に横山先生いろいろありがとうございました。

実行委員 2年 佐藤 理恵

実行委員として体育大会を終えて、ひとまずホッとしました。度々ハプニングがおこり進行が滞り反省する点は多々ありますが、でも私としては本当に楽しめた体育大会でした。何より準優勝に終わったとはいえ、1年生A・Bチームに勝てたことが嬉しかった!! やはり2年生みんなで喜びも悲しみも共に分かち合ってきた



1年半という月日が、チームワークが優勝、準優勝を勝ち取れたのだと思います。高校生のようにはしゃぎ興奮し、思いっきり楽しみました。しかし反省しなければ…看護職に必須の連絡・計画・相談・アセスメントが少し足りませんでした。あと半年、みんなでこれまで以上に助け合い、励ましあって全員で資格試験合格に向けて、そして鬼のようなスケジュールの実習を乗り越えて、頑張っていきます。

1年 長谷川 愛

体育大会が始まって最初の競技は緊張と不安がいっぱいで盛り上がり欠ける場面もあったと思います。でも一人ひとりが手を抜くことなく、一生懸命に取り組んでいたと思います。私も何年か振りに本気で走りました。とても良い機会でした。バレーボールの後半になってから、本当に盛り上がってきて声も出てきて、これからという時に終了だったので残念にも思いました。来年は今年の反省点を生かし、もっと盛り上がる体育大会になればと思います。一人ひとりが本気で向かっていくと大盛り上がりするはずです。バレーボールもお互い協力し合って、すべての競技、女を捨てる勢いで来年も頑張りたいです。来年も楽しみです。



## 鶴岡市立荘内病院地域医療連携推進協議会について

鶴岡市立荘内病院 副院長  
地域医療連携室 室長

伊藤末志

荘内病院は、平成20年12月19日付けで「地域医療支援病院」の名称使用の承認を受け、もうすぐ1年になります。県内の医療機関では山形市立病院済生館に次いで2番目でした。名称使用承認要件は15項目ありますが、「地域医療連携推進協議会」（以下、本会）を設置することも要件の一つであり、平成19年9月4日に設立され、同日に第1回目の本会が開催されました。本会の規約第1条には、本会は「住民が身近な医療機関で病状に応じた適時・適切な医療を受けられるよう、各医療機関がそれぞれの機能の分担と連携を図り、継続性のある一貫した医療を提供すること（以下、医療連携）が求められている中で、庄内南部地域の中核的基幹病院としての鶴岡市立荘内病院が果たすべき役割等について医療関係者等から広く意見を聴取し、医療連携の推進を図ることを目的として」設置するとされています。年4回の開催が定められており、3、6、9、12月の原則第3火曜日に開催してきました。最近では9月15日に通算9回目の開催になりました。このうち年に1回は、本会と地域支援病院登録医、それと荘内病院医師との合同懇談会として開催されます。昨年は12月に開催され、懇談会の後には懇親会が行われ、鶴岡地区医師会会員と荘内病院医師相互の親睦

をより深めることに一役かかってきました。今年度も合同懇談会および懇親会が12月15日(火)に予定されております。登録医を含めた医師会会員全てにご案内いたしますので大勢の参加をお待ちしております。よりスムーズな病診医療連携のためにも、多くの会員の皆様からのご意見（苦情を含め）を待っております。

さて、現在の本会委員の名簿を別記しましたが、鶴岡地区医師会員の他にも歯科医師会、薬剤師会の代表、鶴岡市社会福祉協議会会長、保健所所長、健康福祉部部長等に委員になっていただいております。9月に行われた会議では、①新型インフルエンザの当院の対応について、②呼吸器検診の精密検査の取り扱いについて、③整形外科患者の救急受診について、④「庄内プロジェクト」の進捗状況・歯科医師への「私のカルテ」の周知について、等が報告および協議されました。和気藹々と進められた会議でしたが、委員の皆様からは医療連携を中心とした荘内病院に疑問を感じている多くのことを意見していただいております。

会員の皆様あつての鶴岡市立荘内病院です。今後とも宜しくお願い申し上げます。12月15日(火)にはぜひご参加ください。



平成21年3月開催の本会の模様



平成20年12月の合同懇談会の模様

## 平成21年度 鶴岡市立荘内病院 地域医療連携推進協議会委員名簿

(順不同・敬称略)

役 名	推薦母体	所属・職名	氏 名
委 員	地域等医療機関代表	後藤内科医院 院長	後 藤 興 治
委 員	〃	斎藤胃腸病院 理事長	齋 藤 壽 一
委 員	〃	黒羽根整形外科 理事長	黒羽根 洋 司
委 員	〃	土田内科医院 院長	土 田 兼 史
委 員	鶴岡地区医師会	会長	中 目 千 之
委 員	鶴岡地区医師会	副会長	三 原 一 郎
委 員	鶴岡地区歯科医師会	会長	石 黒 豊
委 員	東田川郡歯科医師会	会長	佐久間 寅 治
委 員	鶴岡地区薬剤師会	会長	佐 藤 慶 子
委 員	福祉関係団体代表	鶴岡市社会福祉協議会 会長	富 樫 毅
委 員	山 形 県	庄内保健所 所長	松 田 徹
委 員	鶴 岡 市	鶴岡市健康福祉部 部長	山 木 知 也
委 員	荘内病院	院長	松 原 要 一
委 員	〃	副院長(兼)地域医療連携室室長	伊 藤 末 志
委 員	〃	看護部 部長	阿 部 恵 子
委 員	〃	事務部 部長	黒 井 秀 治
事 務 局	〃		(黒 井 秀 治)
事 務 局	〃	看護副部長(兼)地域医療連携室主幹	洪 谷 美 恵
事 務 局	〃	医事課長(兼)地域医療連携室主幹	佐 藤 智 行
事 務 局	〃	地域医療連携室主査	叶 野 明 美
事 務 局	〃	地域医療連携室係長	長谷川 伸
事 務 局	〃	地域医療連携室主任	佐 藤 正

## 基礎から学ぶパス、地域連携パス 6回シリーズ

聴講記 中村 秀幸

### 『第1回 パスとは何か』

講師：東京女子医大病院 地域連携室

クリニカルパス推進室 下村 裕美子 氏

平成21年9月から毎月1回（第2火曜日）の6回シリーズで連携パス勉強会が荘内病院の3階講堂で開催されています。当地区でも06年診療報酬にいわゆる地域連携パス加算が記載されたのを契機に大腿骨頸部骨折パスが稼動となりました。また08年には対象疾患が脳卒中に拡大されて現在いよいよ病院と診療所間のパスの運用が開始され始めようとしています。

今後、がんや心筋梗塞、糖尿病など外来診療にも拡大し利用されていくことが期待されています。これを機会に一度原点に帰ってパスを基本から学ぼうということになりました。パスには全くの素人の私がレポートすることで、少しでもパスを理解する一助になればと考え筆を執りました。講師の下村さんは、私が研修した東京女子医大病院におられ、SNSでも交流させていただいており親近感を持ってお聞きいたしました。この原稿は講演レジメを参考にしています。

\*は私の独り言、解説の部分です。

内容は前半の総論部分のお話ですが、箇条書き的になってしまいました。後半はその実例を女子医大病院の事例をわかりやすく解説していただきました。

第1回は「そもそもパスとは、基本編」です。パス独特の用語がでてきますが、これは第2回で詳しく解説する予定です。

#### (1) そもそもパスとは何なのか

多職種が参加した「効率的なチーム医療」を行うためのツールです。そのためには各職種が、これから行われる医療/ケアの予定を知り、役割を認識する必要があります。

それぞれのパスには当然目標があります。目標（アウトカム、臨床上望ましい成果）とは、退院とか摂食問題の解決といったそのチームが患者を導こうとしている到達目標です。今までは医師の裁量や指示で決めていましたが、本当

は「患者の状態」が決めるものです。その客観化した目標を患者、医師、看護師らが共有する医療を目指してのツールなのです。

例えば、退院のアウトカム。医師の判断が大きく、それぞれの医師により違っていました。これを患者、医師、看護師らが共有し目標とします。

具体的にアウトカム設定を退院のための「摂食の判断」としてみると、1/2 摂取？ 全量摂取？とまちまちですが、取りあえず「半分以上」としてみます。それを外れたもの、例えば1/3 摂取は「バリエーション（逸脱）」として扱う。そしてそれを分析することで、食事内容の見直し（個別化）やアウトカムの見直し（一般化）をしていきます。このバリエーションは悪ではなく、パスを見直して行く重要な要素です。

この視点からいきますと、当然「患者用パス」の必要性も納得できます。

治療内容がわかる「患者さんのための治療計画書」、目標（退院時アウトカム）を医療者と患者が共有し、共に治療を行います。またそれは患者とのコミュニケーションツールともなります。

#### (2) パスの仕組みおよび歴史的背景

大まかには「時間軸」と「ケア介入」の組み合わせです。

もともとパスは、カレンサンダー（ニューイングランド医療センター）により開発されたもので、20世紀初頭に作られた工業製品の生産工程管理法を基にしたもの「ガントチャート」だったのです。

\*ガントチャート：Gantt chart とは、プロジェクト管理や生産管理などで用いられる表のことである。1910年代にアメリカ人の機械工学者であり経営コンサルタントでもあったヘンリーガントによって考案された。

基本的構成要素には、パス名、在院日数、パス運用基準、パス非適応基準、治療目標（アウトカム）、治療行為（タスク）などがあります。その背景には、IOM（米国 Institute Of Medicine）の衝撃的なレポート、「To Error is Human: building a safer health system」つまり人は本来間違えるものという発想の転換が背景にあります。これは医療安全、医療供給のあり方を考えるのに大きな影響を与えました。

日本で最初にパスが導入されたのは、1992年に榊原記念病院の心臓カテーテル治療、PTCAが始まりとされています。当初は看護部門から起こり、業務の標準化と改善、インフォームドコンセントツールとしての効果を期待されました。また電子カルテの導入もパス促進に一役買ったようです。

\* そういえば循環器の研修時代に、心筋梗塞の入院からリハビリまでの長々とした「ガントチャート」を眺めていた記憶があります。

### (3) アメリカでのパスの定義

アメリカでの定義は「患者の達成目標を明確化し、効率的に目標を達成するため各職種の行動の理想的な手順とタイミングを示したマネジメント・プラン」(Pearson,1995)

### (4) 今の医療に求められるもの（患者、医療者、社会的ニーズ）とパス

患者サイドからは、安全安心安楽な医療、患者中心の医療、医療費負担の軽減、満足度、患者参加型の医療、インフォームドコンセントなど。また医療者側からは、時間や物の効率化、EBMに基づいた医療、業務改善、業務の軽減、医療の質の保持、チーム医療の実現、医療者の満足などがあげられます。また社会的なニーズとしては、DPC対応の医療、医療費削減、医療安全、在院日数の短縮化、患者中心の医療、情報公開、医療倫理の問題、地域との医療連携、在宅支援などがあります。驚いたことに『クリニカルパスはそれらすべてを包括したツール』となりえるのです。

早く（効率化）安く（標準化）安全に（リスク管理とリスクマネジメント）また確実に治す（治療成績や栄養管理、感染対策、褥創対策な

ど）医療を目指しているのです。

\* 何だか、とてつもなく壮大なツールですね。何でもかなえてくれるドラえもののポケットのようでもあります。

### (5) パス導入による「標準化」

その意義は、習慣的な医療行為の再評価につながります。つまりムダの廃止（効率化）、EBM（客観化）と共通言語（共有化）の視点から、パス（オーバービュー、日めくり）を通じて医療の質の管理や記録のあり方を見直していきます。例えば、剃毛や皮内テストの廃止は効率化につながり、予防的抗生剤の選択は客観化のよい例となりました。

\* 日常臨床のひとつひとつの手順や行動、行為を見直すということ。案外に「以前からやっていたから」という根拠のない行為もあるのかもしれない。見直しをする絶好の機会とも言えますね。

### (6) パスを担保する「適正な記録」とは

適正な記録とは、看護実践を記録したものであり、健康状態がどのように改善したか、あるいは悪化したかを判断する基礎となる記録を提供するものです。

医療の見直しをする上では「よい記録」は必須です。よい記録とは、それは「患者の問題点を挙げ、実践・評価を科学的・分析的かつ経時的に記録すること」です。バリエーション（逸脱）を正しく捉えるためには、患者の状態がパス通りに推移しているかの判断基準が明確であること、観察が十分であること、必要十分な記録が残されていること等が大切です。

\* これも以外に難しい。具体的な事例を経験していく中で学習していきましょう。



日 時：平成21年 9月27日(日)  
場 所：湯野浜 C. C

## 第4回鶴岡地区医師会親睦ゴルフコンペ

中 目 千 之

初秋の快晴の中、第4回鶴岡地区医師会親睦ゴルフコンペが9月27日(日)に湯の浜カントリークラブで行われました。スタート時間は8時31分、始球式は小野寺先生の華麗なショット、わきあいあいのムードで4組の構成で開始となりました。私は第一組で小野寺先生、佐藤満雄先生、斎藤慎先生と一緒に。小野寺先生には前回のこのコンペで負けて、「けけけっ」と笑われ、悔しい思いをしており、今回は私にとってリベンジのラウンド。小野寺先生はそれを十分肌で感じており、二人は始まる前から気合十分。佐藤満雄先生は相変わらず豪快なショットで、4人の中では一番の飛距離。斎藤慎先生は前年度の優勝経験があるためか、飛ばし屋気分で「ぶんぶん丸」状態。前半終わって、小野寺先生44、私46と2打差負けの後半勝負へ。前半少し、体の回転が悪かったので（今年2回目のゴルフですから当たり前のことなのですが）、お昼にカレーライスを食べながら一考。バックナインではアドレスで、両足の幅を一足分狭めて狭く立ち、その分、膝をやや深く曲げてアドレス、集中するのは、ボールの位置（左右と体との距離）だけ。これを意識してまわったら、41がでたというものでした。なんとかこれで小野寺先生にリベンジでき一安心。結果的に優勝が転がり込んできました。

今年の年間優勝は三原先生で、三原先生の安定したゴルフの勝利ということですが、しかし、優勝したのはうれしかったのですが、優勝者が三原先生や私であるということに関しては、半



分面映ゆい気持ちです。この親睦ゴルフコンペの真意は開業医、勤務医の先生方、職員等が一堂に会し、5時間余りゴルフをしながら親睦を深めるとというのが設立の真意です。主催者側である私や、三原先生が優勝してみてもあまり意味のないことであり、参加してくれた先生方がうれしい思いをしてくれてこそ企画が成功するというものです。

来年も5月末か6月初めに開催します。それまでに十分に時間がありますので、参加者の拡大、みんなが楽しめてリピーターが増える方法、たとえば前年度優勝者は除外するとか、あるいは主催者側はゴルフを一緒にするにしても、他のメンバーのスウィングショットの写真撮影や珍プレー、好プレーを撮影して、そのあとの懇親会席上で披露するとか、会員の先生方の親睦、交流に一役を担うゴルフコンペとしての在り方を模索して行きたいと考えてます。今回、参加していただきました諸先生方、とくに荘内病院の若い先生方、並びに医師会職員のみなさまの、このたびの参加へのご協力に対し心から感謝申し上げます。



協議方法：Wペリア 打数制限：PAR×2 HDCP上 男：36.0 女：36.0 HDCP下 男：0.0 女：0.0

順位	競技者名	O U T	I N	GROSS	HDCP	NET
優勝	中 目 千 之	46	41	87	13.2	73.8
準優勝	菅 井 健	54	49	103	28.8	74.2
3 位	小野寺 俊 直	44	46	90	15.6	74.4
4 位	三 原 一 郎	46	54	100	25.2	74.8
5 位	五十嵐 裕	43	49	92	15.6	76.4
6 位	佐 藤 満 雄	53	57	110	30.0	80.0
7 位	五十嵐 龍 二	52	65	117	36.0	81.0
8 位	皆 川 忠 徳	56	53	109	27.6	81.4
9 位	中 村 誠 一	60	65	125	36.0	89.0
10 位	齋 藤 慎	56	68	124	34.8	89.2
11 位	後 藤 興 治	64	62	126	36.0	90.0
12 位	福 原 晶 子	64	63	127	36.0	91.0
13 位	石 原 良	62	68	130	36.0	94.0



# マイペット & マイホビー

— 第59回 —

## さようなら愛犬たち

黒羽根 洋 司

8月1日、我が家の愛犬ららとあきの親子と、長島家の兄弟犬マックスの合同納骨が営まれた。

ららは2008年3月4日に17歳で、1歳8ヶ月違いのあきは母の後をすぐ追うように2008年11月3日に15歳で亡くなった。マックスも2009年6月1日に力尽きるようにして旅立ったから、わずか1年3ヶ月の間に、次から次へとかけがえのない愛犬たちが私たちの前から消えていったことになる。

納骨の日は、私たちの気持ちを代弁するかのよう、空は夏の真っ盛りとは思えないほど、どんよりとしていた。不快な湿気は、肌ばかりでなく5名の参列者の心までにも、まとわりついていた。

霊園の管理人による読経が終わると、それぞれの骨壺が開けられ、共同墓所に入れられた。ららからマックス、そして最後にあきの順に、白くて乾いた骨が、静かな音をたてながらおちていった。

「さよなら、ららとあき、そしてマックス」。

ららがその愛くるしい姿を私たちに初めて見せてくれたのは、1991年の4月のことであった。見知らぬ家にやって来た不安がつくる表情と所作が、いじらしさを誘った。柴犬の仔ほど可愛いものはないと聞いていたが、まさにそうであった。まだ幼かった二人の娘はたちまちとりこになった。

自分に厳しく他者に優しい、賢くて健康なららは、やがて3匹の子供を産んだ。1993年10月12日のことであった。

一匹は我が家に残し、あきと名づけられた。秋に生まれたから、という次女の明快な発想か



母 らら (奥) とその娘 あき (手前)

らであった。もう一匹のメスは当院で働く看護師さんに譲られた。唯一のオスの子は、近所の長島さんに可愛がってもらうことになった。やはり、息子さんの発案でマックスと呼ばれることになった。

母となったららは、前にもまして温厚で辛抱強く、気が変わらず、やさしい目になっていった。一方、容貌も立ち居振る舞いもららにそっくりなあきだったが、性格は微妙に違っていった。やんちゃで驚くほど愛想がいいのに、決して一定の枠を越えず、媚びることがなかった。嬉しかったり、愛する人に声をかけられたりすると笑い顔すら見せるあきであった。

ららとあきとの生活が私に与えてくれたものははかり知れない。二匹を連れて行く散歩は、朝の清新な空気と季節の移ろいを味わう喜びを教えてくれた。扉を開けたとたん、すっとんできて飛びついて迎えられる時の幸せは、何物にも変えがたいものであった。

私が犬との生活で体感したのは、愛情とか信頼の自然な発露といったものであったかもしれない。二匹と向かい合えば、無償の愛情と信頼

を感じとることができ、体を撫でればいつも、穏やかで開放的な世界にたゆたうことができた。

それぞれの最期を語れば紙数が尽きないが、「慈しむ心」から発する家の者たちの献身的な看護と、それに応える愛犬たちの姿は私に大切なことを教えてくれた。ららもあきもマックスも、犬という存在を超えて、私たちの「人生のパートナー」になっていたのを、より深く実感させられた。痛みや苦しみを言葉にできない彼らが示す、けなげに耐えるばかりか、いじらしいほどに私たちの激励に応えようとする態度は驚くばかりであった。これこそが「にもかかわらず笑う」ということなのだろう、と心が打たれた。

これらは全て、文字や理屈でない人間が本来持たなければならない原初的な感情であるのだが、彼らと生活をする中で改めて教えられたことであった。

納骨を終え、最後の別れを心の中でつぶやきながら帰途についた。家に入ると、まだ片付かない犬用の敷物の裏面に書かれた文字が私の目に入った。

Who can ask for anything more dog ?

犬以上のものを誰が一体もとめ得ようか、という意味だろう。さらにその下には大きくDOGと書いてあった。私はこれを見て、はたと膝を打った。そうか、DOGを逆さに読めばGOD、

犬はまた神の成り代りだったのだ。犬こそ周囲に幸せを運ぶ天才であり、神だったのだ。

私たちの神たちの精霊は、親子3人で中空を飛んでいることだろう。甘美な数多くの思い出をつくってくれた愛犬たちに再び礼を述べながら、天国でも幸せになってくれることを心から祈った。

付記：当院の看護師の家族に可愛がられていた、ららのもう一匹の娘ごまも2008年12月8日に亡くなった。だが、その子、孫たちへと、命は今も脈々と受け継がれている。



長島家のマックス



## 大切な本・思い出の曲

No. 5

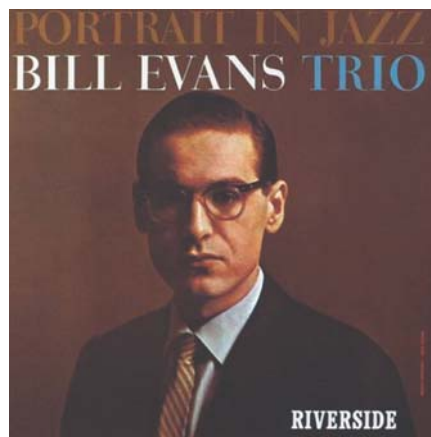
### Autumn Leaves (枯葉) ～ Bill Evans

渡 部 隆 二

秋も深まり紅葉も本番を迎える時期になった。私の思い出の曲は『Autumn Leaves (枯葉)』である。もともとシャンソンの名曲でご存知の方も多いと思う。なんとなくもの悲しさを感じさせる美しいメロディがジャズの雰囲気合うためか、多くのジャズメンに好まれ、代表的なジャズのスタンダードナンバーとしても親しまれている。私を新しい音楽の世界に導いてくれた曲である。

私がこの曲に出会ったのは高校に入った頃だから、もう30年近く前になる。もともと音楽は好きで、ロックを中心にいろいろ聴いてはいたが、ジャズは知らなかった。ある日、父のレコードのコレクションの中からたまたま手に取ったのが、ジャズ・ピアニストであるビル・エバンスの『Portrait In Jazz』というアルバムだった。初めて聴いたときの衝撃は今でも忘れられない。なんともいえないアダルトな雰囲気。リズムもコードの響きも、シャカシャカ鳴るブラッシュ・ワークもすべて新鮮だった。中でも2曲目の『Autumn Leaves』。もうイントロからかっこいいのである。ベースとピアノがジャブを打ち合うような短いアドリブの応酬からピアノソロへなだれこむ辺りのスイング感が最高に気持ちいい。すっかり気に入ってしまった私は、その後、ジャズの入門書や雑誌を読みあさるようになり、次第にジャズへと傾倒していくことになる。当時はインターネットもレンタルCDもなかったから、ジャズの音源は主にレコードとFM放送だった。当時でもLPレコードは1枚2,000円位したので小遣いで買えるのはせいぜい月に1枚だった。FMはNHKの一局だけで、ジャズ番組やライブ放送をエアチェック（今や死語か）しては繰り返し聴いた。それからしばらくジャズ熱は続き、大学に入ってから、ときどきコンサートやジャズ喫茶などにも出かけるようになった。

ところで、ジャズを鑑賞するには家でレコー



ドやCDで聴くに限る、と私は思っている。コンサートやジャズフェスティバルなどの幕が開くまでの高揚感は、たまに味わうにはいいが、最初は憧れのジャズメンが目の前で演奏していることに感激し、音などそっちのけだ。そのあと音楽に集中したとしてもたいていは五、六曲も聴けば、だんだん飽きてくる。そして終盤、聴衆の手拍子などが始まると、もうだめだ。わたしなど気が弱いほうだから、周りがみんな手拍子していると、ついしたくもない手拍子をしてしまう。CDなら飽きたら止めればいい。外国では軽食やお酒を飲みながら生演奏を聞くスタイルが多いらしいが、それはなかなか良いかもしれない。

結婚し子供が生まれてからは、昔のようにじつくりとCDを聴く時間も取れなくなった。そのせいか、新しいCDを買うこともあまりなくなった。最近はおっぱらインターネットだ。インターネット・ラジオのジャズ番組はたくさんあって、古いスタンダードから最新作まで、無料で気軽に聞けるのがいい。診療の合間に診察室のPCでよく聴いている。もし気に入ったのがあれば、amazonのバナーをクリックすればすぐ購入できる。動くジャズメンを見たければ、YouTubeで検索すれば一発だ。いろんなミュージシャンの『Autumn Leaves』を探して聴きくらべてみるのも面白い。

## 新健診センター建設準備室便り

No.9

9月18日に設計業者と打ち合わせを行い、平面図の再確認、電話・ネットワーク・セキュリティの電気設備、検査室の給排水・空調ゾーニング等の機械設備について両者で確認をし、工事区分と今後のスケジュールについて検討を行いました。これにより今回で基本設計の打ち合わせが終了となります。

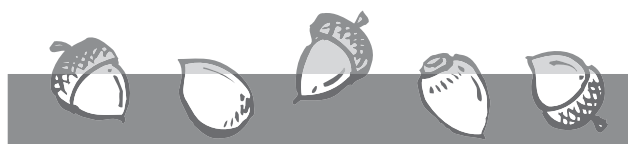
9月25日の第16回建設委員会では、建築工事に含まれる家具と別途に入札もしくは見積もり合わせを行う特注家具の種別について設計業者から説明があり、外構計画については、内川沿いの東面のみ植栽を行う、ただし駐車場の出入り口付近の見通しを考慮し計画するようにとの意見があり、設計業者から数案を提案してもらうこととなりました。

また、前回委員会で、事務室がワンフロアのため空調効率が悪くなるのではないかとのご指摘を受けましたが、事務室を7つのゾーンに区分けし、残業時や他課の不在時は空調の必要なゾーンと隣のゾーンを稼働することで対応していくとの説明がありました。また、新センターと現センターの電話・ネットワークについて、現状と新設案、配管と配線までの工事区分について説明がありました。

今後のスケジュールについては、設計・工事、契約手続き、入札等について確認と協議を行い、平成23年2月の新健診センターの竣工と4月に開設することを再度確認しました。また、新健診センター開設時の利用者の安全と駐車場を確保するために、既存建物（在宅サービスセンター）の解体・現健康管理センターの改築・外構工事のスケジュールを見直すこととしました。入札の方法、詳細については次回委員会で協議のうえ決定することとし、入札に関するスケジュールについては承認されました。

現健康管理センターの改築については、職員間で検討したレイアウト（案）の説明を行い、今後はそのレイアウトを設計業者が設計図に落とし込み、その図面を基に電気やネットワークの配線、事務用品の配置等詳細なレイアウトを検討していきます。

最後に、第3回目の会員説明会を来年の1月に開催する事が決まりました。外観等、具体的な図面を用いて説明を行う予定です。



## 表 紙

## 「大賀ハス」

国立感染症研究所 宮村達男

写真は町田市薬師池公園にある大賀ハスの開花です。2000年の生命のエネルギーもまた感動的です。

(追記：大賀ハスは1951年に大賀一郎博士によって千葉市検見川遺跡で弥生時代の地層から発見された種子から開花し、世界最古の花といわれています。宮村氏より送っていただいたこの花の写真があまりにも神秘的なので、了解を得て掲載させてもらいました。齋藤 壽一)

## 編 集 後 記

朝がめっきり冷えてきました。新聞は連日新政権の発足以来、マニフェスト実現に向けた足取りを一步一步注視し検証のまなざし。医療界は今後どうなるのやら。来年4月には診療報酬改定が控えています。ここ数年削りに削られた年間数千億円規模の医療費削減のつけが今多くの事件、事象となって安全安心安楽であるべき医療を脅かしているこの現実を民主党はどう捉え、どのように政策を講じてくれるのでしょうか。

表紙の大賀ハス、ロマンというか幻想的です。文字通り2千年の太古よりタイムカプセルで送られてきたのですね。生命のしたたかさも感じます。

今月号は、荘内病院の地域連携関係の記事、推進協議会と連携パス勉強会の記事が載っています。新型インフルエンザや連携パス、庄内プロジェクト（緩和ケア）と最近では地域が一丸となり連携をとりながらチームで取り組む事業が多くなりました。顔の見える関係、実際にはFTF（フェイストゥフェイス）で言葉を交わせる関係を、研修会や講習会など参加するなかで作っていきましょう。

黒羽根洋司先生の「さようなら愛犬たち」も、2匹の犬と暮らしている私にとっても涙なしには読めませんでした。でもいつかは訪れる現実なのです。いま、この瞬間を大切に、これしかありません。

渡部隆二先生、ジャズの洗礼って高校生ですか？ 私はというと開業してからですよ。今後も会員の先生方、「大切な本、思い出の曲」への投稿よろしくお願い致します。

(中村 秀幸)

編集委員：中村秀幸・伊藤末志・福原晶子・齋藤憲康・小野俊孝・渡部隆二

発行所：社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail tsurumed@jupiter.ocn.ne.jp

URL <http://www15.ocn.ne.jp/~tsurumed/>